

もりや里山新聞

5/24

【日曜日】
発行

守谷里山ネット

一・炭焼きの実施

昨年十一月から竹林を伐採し、定尺裁断、乾燥、小割り、節取り、結束と炭焼きに向けて準備作業を進めてきました。

三月二十八日(土)に県自然博物館内の炭窯「博楽玄窯」に運搬・搬入しました。軽トラックで三往復に家用車にも一部積み込んだのでかなりのボリュームです。

引き続き炭窯への詰め込み作業を行い、火入れの準備を完了しました。今年、竹以外に依頼された材料を含めて「木の実」などが八缶に、もみ殻を隙間に大量に投入してみました。月曜日が博物館の休館日なので、本火入れは三十一日(月)としました。

当日は早朝から火入れに取り掛かり、窯口に木材を定期的に投入しながら温度の上昇を測ります。夕方になって八〇度近くに上がってきたので、窯口を狭くし、煙突を設置して竹酢液の回収を始め



ました。以降定期的に煙温度を監視・調整しながら竹酢液の回収タンクを取り替える火の番です。ちょうど窯の目前にある桜が咲いてきて花見をしながらの、のどかな炭焼きとなりました。博物館の来場者も物珍しそうに見学に立ち寄ります。火入れしてから四日目の四月三日(金)の午後、窯の温度もかなり上昇し、排出する煙の色が青から透明になってきたタイミングで完全に火口閉塞をしました。

竹酢液は六缶半回収できました。閉塞後、完全に鎮火し温度が下がるまで三週間ほどおいて四月二五日(土)に窯出しを行いました。窯の中に入って搬出する人は全身煤で真っ黒になり大変な作業です。今年も順調に仕上がりが、竹炭のいい音が響きました。木の実や丸竹のほか、新聞等も文字が読み取れる状態で出てきました。

— 目次 —

1. 炭焼きの実施
2. 山百合園地協働整備作業を実施
3. ツリーデッキの出現
4. 市内各地で小学生の田植え
5. 「まもり」の田植えと自然体験

ボランティア募集
あなたも一緒に楽しみましょう!

守谷里山ネットワーク

〒302-0119

守谷市御所ヶ丘 5-25-1

守谷市民交流プラザ内守谷市民活動支援センター付

☎ 0297-46-3770 メール denen21@hb.tp1.jp

ホームページ「野に集い野に遊ぶ」

<http://w01.tp1.jp/~a071771011/index.html>

守谷市では、多くのボランティア団体が各地で、手作りによる里山づくりを行っています。何か地域で活動してみたい / 自然と関わりのある活動してみたい / 子供たちの遊び場を作ってみたい / みんなで楽しく汗をかいてみたい
そんな思いをお持ちの方は、ぜひこの機会にご一緒に活動してみませんか。

二・山百合園地協働整備

備作業を実施

高野公民館に隣接した山百合園地(森林)は「守谷山百合の会」の活動フィールドで、山百合の自生地として管理してはいますが、常緑樹等の樹木が大きく成長してきて林内の日照条件が悪くなり、山百合の生育環境として問題となってきました。

大木もあるために山百合の会だけでは対応が困難であることから、今回守谷里山ネットワークの呼びかけにより、茨城森林クラブや立沢里山の会など森林作業に経験の

ある団体の協力を得て森林整備を行うことになりました。

三月八日(日)当日は天気心配されましたが、何とか持ちそうと判断し決行としました。午前九時には関係団体から十五名ほどのメンバーが、チェーンソー、刈り払い機、ノコギリなどの機材を手に集合しました。

全体打ち合わせの後、早速作業を開始しました。

午前中、半日の作業でしたが、数の力は偉大です。常緑樹を主とした間伐作業と下草刈りなどを実際よく行い、山百合には鬱蒼として暗すぎた森林が木漏れ日がさす明るい森に変身しました。今後山

ました。ただ高所の枝打ちは足場が悪く通行人もいたのでローピンなどかなり難儀しました。伐採した樹木は裁断し軽トラックで搬出したので全体として周辺環境の改善もできたと思います。昼食には焼きそば、おにぎり、みそ汁などを用意していただき、体全体が温まりました。

三・ツリーデッキの出現

大井沢小学校から中央図書館への道すがら、田んぼの向かいの大木に展望デッキが見えます。

小川の合流地点に生えた柳の木が大木となり、田んぼに支障となる恐れがでてきたことから、昨年一部の枝を伐採しました。

その際に、廃材を活用してデッキを製作してみようということになりました。

また、里山や田んぼの監視場所、子供達の遊び場所としても活用できると思います。

上に登ってみると、見晴らしがよく木漏れ日が差して気持ちの良い風が



明るくなった森林



百合自生地の拡大が期待できるかもしれません。また、ふれあい道路の歩道を覆ってしまっていた枝木も併せて伐採し



ツリーデッキ

流れてきます。しばらく静かに風景を眺めると野鳥が目の前の枝にとまったり、キジが真下までやってきます。

子供達にとつてはもうひとつ遊び場所が増えました。小川に浮かんだプラスチックパネルで「義経の八艘渡り」遊びができるように



新設木道と水上パネル

立沢里山田んぼの学校



四、市内各地で田植 立沢里山の「田んぼの学校」

なりました。
もともとは土手道の舗装として設置したパネルを、子供達が悪戯で小川に投げ込んで遊んでいました。元の場所に修復させる作業の際に上に乗ってみると結構おもしろそうだと気がつきました。小さな子供でも危険のないようにロープでつないで、水深も浅く調整してみました。冬期は土手道に戻しますが夏期は子供達の冒険遊び・水遊びとして浮かべて置くこととしましたので、自由に使うてもらえればと考えています。大人でも結構おもしろいですよ。

五月十二日(火)立沢里山の田んぼで、恒例の御所が丘、松前台、大井沢と三つの小学校の五年生約二三〇名で合同の田植えが行われました。

前週の九日(土)には、子供や先生の有志、約五〇人が参加して、代かきや畦塗り、草取り、草刈などの準備を手伝ってくれました。

当日は台風五号が近づいていると、天気を心配していましたが、影響は夕方からという際どいタイミングで、子供達が集合した午前九時は風もなく晴天に恵まれ一回ホッとしました。

挨拶・説明などのあと、学校ごとに田植えが始まります。毎年やっていますが、年によって全く状況が違います。今年は水温が低かったのでしょうか。子供達は田んぼに入る最初の

一歩が踏み出せずにかなり苦労していました。ただ、思い切って入り、泥だらけになって苗を植える始めると皆大声で叫び、は

高野小の田植え



しゃぎまわりだします。児童の人数が多いので四交代の学校もあり、途中交代の号令をかけるのもつとやりたいと残念そうな顔を見ます。全身泥まみれになる子供もかなりいますが、好天で暑くなってきたことから上総堀井戸の地下水で泥洗いをすると、気持ちよくなって中々水槽から出て交替しようとしません。

午前中には無事田植えを終了し、皆元気に帰って行きました。ご苦労様でした。次回は六月の草取りです。父兄を含めて三百人近い人が集まるとかなり迫力がありますね。子供達が帰った田んぼは静寂そのもので一瞬寂しそうです。ところが、一時間もしないうちに、今度は我々の出番とカエルが戻ってきて元気に鳴き出しました。

高野小学校の田植え

五月八日高野小学校五年生児童により田植え体験事業を行いました。今は高野環境保全活動組織で行っております。七〇名からの子供たち最初はいやだなどという子供もいましたが最後のころは泥だらけになりながら、また、泥に座り込み暖かい、もつとやりたい、大喜びで帰っていききました。

大野小学校の田んぼりりー

まちかど

▽児童らが田んぼを走る
守谷市立大野小学校の「ふれあい農園」で20日、田植え前の田んぼを走る「田んぼりりー」があり、4年生28人と保護者が参加した。児童たちは泥だらけになり、「チョー楽しい」「面白すぎる」と喜んだ。
大野地区は稲作が盛ん。田んぼりりーは米づくりの体験学習の一環で、泥にまみれて自然とのつながりを体感させようと取り組んでいる。
水田を提供している農家高橋甚一郎さん(69)は「子どもは泥だらけになると元気になる。自然が持っている力はすごい」と話していた。



五、「ままもり」の田植 えと自然体験

「ままもり」は守谷市内の若いお母さんを中心とした子育て支援ネットワークです。

小学校入学前の幼児を含めた親子での自然体験がしたいと、里山ネットワークに相談がありました。交通の便、安全性、受け入れ体制などを検討し、立沢里山の田んぼを一枚活用することにしました。

五月十七日(日) 幼児を受け入れるのは初めての経験というところで、里山の会の皆さんが朝早くから、テント張り、ゴミ拾い等危険性がないように準備をしてくれました。

十一時すぎからイベント開始。募集した定員いっぱい親子約三十組が現地集合しました。

苗の植え方や田んぼの歩き方の説明を受けて、早速田んぼに入ります。

興味津々で元気に入っていく子もいますが、泥が気持ち悪いと泣き出す子、絶対に入らないと頑張る子など様々です。最初は大騒ぎでなかなか田植えが始まりません。

ようやく、最初の一行を植え終わる、今度は一歩下がるのが大変です。あらかじめ、田んぼの歩き方は「抜き足・差し足・忍び足」が基本ステップですと、教えてもらいましたが、理屈通りにはできません。

こんなときに頼りになるのはやはりお父さんのようですね。



子供は水遊びが大好き



ね。親子でわいわい言いながら、何とか無事田植えが終わりました。中にはまだやりたいと言って、田んぼから出てこない子もいました。ちょうど、田植えが終わるころに昼食が届き、湧水で手足を洗い、お母さん達が用意してくれたカレーライスを皆で食べました。一生懸命田植えをして青空の下で食べる食事は最高ですね。おかわりする子供も多く、用意した食材は全くの空になりました。

昼食の後は、めいめいタモ等を手に持って、魚採りが始まります。ザリガニ、ドジョウ、メダカなどあちこちで歓声が上がります、手に持ったカゴを得意そうに見せに来ます。新しくてきたツリーデッキに登ったり、八艘パネルを発見して飛び回ったりと後半は特に指導がなくても楽しく遊びまわっています。子供は本当に自然そのものだと実感します。最後は、体験したことのお絵かきと、各自に感想を述べてもらいました。「最初は子供がいやがって大変でした。実は私もそうだったのですが、今は子供が帰りたくなると言い出して大変です」という言葉が印象的でした。

【編集後記】 守谷市内で里山活動に取り組んでいる皆さんからの情報提供が何よりも重要です。本紙への活動報告、行事の予告など記事をお寄せください。(守谷里山ネット 清野) こちらまで メール⇒ denen21@hb.tp1.jp

田植え完了

